

「With コロナ時代における未来アイデア」  
応募用紙

○応募者  
氏名・法人

・団体名	
(法人・団体の場合)	代表者名: 担当者名:
メールアドレス	
電話番号	

募集対象・応募資格適合への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 同意します
暴力団関係者(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)に規定する暴力団をいう。)	<input checked="" type="checkbox"/> 該当しません

○応募内容  
アイデアの部門を下記から1つ選んで丸(○)を記入してください。

未来デザイン部門

未来テクノロジー部門

アイデア名	調光パーティション
-------	-----------

提案の概要(200字以内)
After コロナでも使用することができるパーティション。With コロナ時代は透明の状態で使用することで、感染を予防しながらコミュニケーションの阻害を最小限にする。After コロナ時代は、災害時の避難所用パーティションとして使用する。透明・不透明を切り替えることで、プライバシー確保と他者との繋がりを両立する。

提案に当たっての現状・課題・背景 ※様式自由
感染防止の観点から多くの学校で生徒や学生の席の間にパーティションを設置しているが、長期的な視野で考えた場合、終息後に全国規模で大量のプラスチックを廃棄することになる。With コロナ時代の感染予防というニーズを満たすだけでなく、After コロナにおける環境破壊防止を考慮する必要がある。

提案を実施することによる効果、提案の実現可能性や実現に当たっての課題 ※様式自由
<b>効果</b> 学校は災害時の避難所として使用されることが多いため、災害時のプライバシー確保にも使用できるパーティションを学校に設置することで、コロナ終息後もパーティションを廃棄する必要がなくなる。また、避難所において現在は不透明なパーティションをすることでプライバシーを確保しているが、避難所生活が長期化した場合の孤立にも繋がっている。透明・不透明の切り替えが可能なパーティションを使用することで、プライバシーの確保と他者との繋がりを両立させるだけでなく、避難所全体の圧迫感を抑制することができる。
<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"><li>調光機能を持つガラスは社会実装されているが、他の素材で同様の機能が実装できるかが不明</li><li>仮にガラスを使用する場合、学校で使用することを考慮すると強化ガラスである必要がある。強化ガラスに調光機能をつけることができるかが不明</li><li>調光を行なうためにはエネルギーが必要になる。平時に充電を行なっておくことで非常時の給電は不要とする想定で考えているが、充電したエネルギーを長期間保持する手段に関しては検討が必要</li></ul>

提案の詳細 ※様式自由
-------------

添付参照

※「提案の概要」以下の項目は、適宜記入欄を拡張して構いません。

※様式自由となっている項目は、別ファイル(ワード又はPDF形式)で提出していただいても構いません。ただし、本応募用紙と合わせて最大20MBまでです。